

夏季期間における家畜防疫対策の徹底

- ◆ 近隣諸国ではアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザが発生し著しく拡大しています。
- ◆ 夏季期間では人・物の移動が多くなり、特に海外からの入国者の増加により感染リスクが高くなることが想定されます。
- ◆ 国内、府内及び個々の農場への家畜伝染病の侵入防止のため、より一層の緊張感を持って、引き続き飼養衛生管理基準の徹底をお願いします。



- ◆ 畜産関係者におきましては、家畜伝染病発生地域への渡航は自粛してください。家畜伝染病発生地域からの畜産物等の持込みの禁止を徹底してください。
- ◆ 衛生管理区域や畜舎への立ち入りの際は、「長靴・手指を消毒する」、「専用の手袋や長靴を着用する」等、病原体の持ち込み防止を徹底してください。
- ◆ 家畜の健康観察を毎日実施し、異常を認めた際は、診療獣医師や家畜保健衛生所等へ速やかに連絡してください。